

株式会社第五電子工業

神奈川県相模原市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

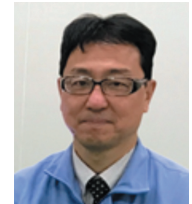
ポイント

「金属加工のエキスパート」がロボットの導入で最先端技術の実現を支える

- 「欠品率 0.1%以下」の目標とロボットの導入が顧客ニーズを満たすことにつながる
- 高品質はそのまま、生産キャパシティの拡大を図り、100年続く企業を目指す
- 社長はコミュニケーションを大切にされた経営を実施し、大手取引先からの信頼と社員からの人望を獲得

企業基本情報

所在地	神奈川県相模原市緑区橋本台 2-7-23
電話/FAX	042-774-2345/042-772-1575
URL	http://www.netdaigo.com/
代表者	代表取締役 水田 光臣
設立	1960年
資本金	1,000万円
従業員数	68人



会社概要

半導体製造装置における高熱ウェハーを冷却するラジエーター等の製造を中心に、真空装置の部品加工や装置の組立、完成品（OEM）生産まで、ステンレスを主とした金属加工について、幅広く対応することができる。「短納期・少量・不定期」の注文や環境対策などに応じてきたことで、他社との差別化に成功し、大手取引先からの信頼を獲得している。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 「欠品率 0.1%以下」と「ロボット導入」

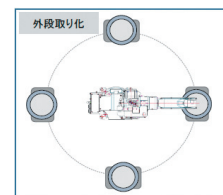
同社は、製品の品質保持のため、「欠品率 0.1%以下」を目標に徹底した管理を実施するとともに、「溶接ロボット」を導入し、突発的な増産依頼に対応可能な生産体制を実現。高品質製品を安定して供給できるため、「溶接ロボットがあるから、注文したい」という顧客が急増、2016年度期の売上は、前期比 1.5 倍の約 9 億円となった。なお、溶接技術者については、ロボットの導入により大卒・高専卒の新人を 4 年連続で採用することに成功しており、取引先からは事業継続性の観点で高評価を得ている。



顧客満足度をアップさせる溶接ロボット

▶▶▶ 高品質はそのまま生産キャパシティを拡大

同社では生産キャパシティの拡大を図っており、高品質・短納期で製品をつくるための創意工夫や試行錯誤が日常的に行われている。溶接ロボットの導入時には、加工部品の脱着に時間を要し、ロボットの稼働率が低下するという問題が発生したが、社員が様々なアイデアを出し合ったことで、ロボットの稼働率を 100%、作業時間を 20 時間から 8 時間に短縮することに成功した。今後、食品、医療、航空宇宙等、あらゆる業界の加工にも積極的にチャレンジし、年商二桁億円の早期達成と 100 年継続する企業体制の構築を目指していく。



【ポジション 4 台構成】
段取り替え時にも、ロボットは停止しない

発想の転換を形にし、生産効率は 2.5 倍

▶▶▶ コミュニケーションを重視した経営

社長は「相手本位のコミュニケーション」により、「相手が本当に求めているものを理解し、叶える」ことを意識して営業活動に取り組む。品質管理体制の確立や BCP にも積極的に取り組んだことで、大手取引先からの高い信頼を得ている。社内のコミュニケーションも大切にしており、また、「積極的にチャレンジできる環境」づくりに注力。果敢に挑戦する社員への後押しを惜しまず、20 代の社員を工場の役職者に抜擢するなど、こうした環境づくりが、「自ら発言し行動する人材」の創出につながっている。



BCP 活動：災害対応訓練